

令和2年度 第2回四国中央市水道事業経営審議会要旨

日 時 令和3年3月1日(月) 13時30分～14時50分
場 所 水道局庁舎 2階 会議室
出席委員 足達謙二、石川 茂、宇田賢司、篠原一美、鈴木義彦、高橋 充、
蝶野幸恵、続木一雄、森實清美
事務局 田辺敏文、篠原 健、庄司玉男、石川貴仁、石川照人、鈴木敏弘、
石村佳史、高橋育夫、井上幸一、篠原昌喜、大尾裕美
その他 (株)日水コン 竹田
傍聴者 1名

1. 会長あいさつ

2. 水道局長あいさつ

3. 議事

議事1 諮問事項

四国中央市水道事業ビジョンについて

○事務局より説明

○質疑

・委員

四国中央市水道ビジョンでは、関川の扇状地で、農作物の肥料が地下水に浸透することによって水質が悪化する等問題があるということで土居地域へ中田井浄水場から送水する計画となっていた。四国中央市水道事業ビジョン(案)では、小富士長津地域に新たに水源を設けることだが、こちらの水質に問題はないのか？

※以下、四国中央市水道ビジョンを 「現ビジョン」
四国中央市水道事業ビジョン(案)を「新ビジョン」とする。

・事務局

水質基準値の10分の1程度なので問題ない。以前は、ほぼ基準値まで上昇する水源もあり問題になっていた。

・委員

料金統一について、現ビジョンでは、平成26年～27年に市内料金統一の準備をし、平成28年～32年に市内料金統一を行うとあるが、新しいビジョンにはそういった記載はなく、経営戦略では3年おきに料金を値上げしていくことになっている。PDCAサイクルがビジョンに記載されているが、今回料金統一がなされなかった原因・経緯を評価して、新しいビジョンにどう活かしているのか？

・事務局

平成29年度に土居地域の料金統一は行ったものの、平成32年度の市内統一の目標は達成できなかった。それを踏まえ、今回は経営戦略の財政計画で各年度を細かく

出している。新ビジョンは、基本的な考え方をまとめており、具体的な内容は別冊の経営戦略で説明している。

・委員

この経営戦略によると、3年おきの料金値上げを計画しているが、議会や市民の理解がなければなかなか難しいのでは？市民とのコミュニケーションも図っていくようだが、具体的にどのように進めていくのか？

・事務局

3年ごとの料金改定はあくまで目標で、実際は決算等を見ながら改定の幅、時期を検討していく。市民への周知は、早めから取りかかり、議会を通じて議員にも説明していきたい。

・委員

新宮地域の管路の耐震化については、どのように考えているのか？

・事務局

給水人口をある程度見込んで、事後保全型ということで、事故・漏水の恐れがあれば対応する。

・委員

前は三島川之江地域をもっと上げなければいけないという説明があったが、それに比べたら改善されているようなので、綿密に精査されたということなのか？

・事務局

前回から精査して絞り込みを行った。

・委員

前回、企業債を30年固定金利で5年間元金据え置き、年0.3%の低金利で借りていると聞いて安心したが、今朝財務省のホームページで確認したら、現在の金利が0.5%になっていた。この財政計画の金利の見込みは何%で計算されているのか？

・事務局

1%を想定して試算している。

・委員

料金改定は今後避けて通れない道だが、水道料金の値上げは市民にとって生活に大きく関わる事なので過敏になると思う。今後も出来る限りの努力を惜しまないで欲しい。

・委員

組織体制について、職員30人体制とあるが、今後更新事業が増えていく中でこの体制で維持出来るのか？外部へ委託する案もあるのか？

・事務局

市全体でも土木技術者の確保が難しい状態である。現在、三島川之江地域は、中田井浄水場や場外施設の維持管理を民間に委託している。今後は、施設や事業を統合していく中で、土居地域や新宮地域も民間委託することを視野に入れた検討は必要になってくる。

・委員

計画給水人口と計画一日最大給水量について、各事業の一人当たり給水量を比較するとばらつきがあるようだが、このようになるものなのか？

- ・事務局
それぞれの事業が国や県から認可をとった時に、その時代の水の使い方などを勘案しながら一人当たりの需要量を計算して設定した数値である。
- ・事務局
答申書（案）について提案、説明
—質疑等なし— 答申書（案）が承認。
事務局を通して市長に提出。

議事2 報告事項

令和2年度決算及び事業報告について

○事務局より説明

○質疑

- ・委員
簡易水道事業特別会計の繰入金の職員給与費は何名分なのか？
- ・事務局
1名分である。
- ・委員
どこからの繰入金なのか？
- ・事務局
市からの繰入金である。
- ・委員
令和2年度から地方公営企業法を適用しているが、この繰入金は以前と同様にいただけているのか？
- ・事務局
いただけている。
- ・委員
委託業務一覧表「中田井浄水場等更新整備・運営事業モニタリング支援業務」は、どういう業務内容なのか？
- ・事務局
中田井浄水場等更新整備・運営事業を前例のないDBO方式で行う際、職員だけで進捗確認することが難しいため、外部のコンサルタントに委託して支援してもらっていた。

4. その他

- ・委員
水道局では多くの工事を発注しているが、狭い業界なので、今後も業者との関係に十分気を付けてほしい。

閉会